

# 龍馬が歩いた北国街道



9 菊桂酒造

江戸末期創業の酒屋。龍馬も飲んだかも!

8 三秀園跡地

たばこや 荻屋旅館跡

龍馬が福井で定宿にしていた旅館。三岡八郎(のちの由利公正)と日本の将来について語りあった。

7 石門

文久2年(1862)創業の海苔屋

北国街道が通る交通の要衝で、半石半木の奇橋として有名だった。越前各方面への里程(距離)は九十九橋の北詰を起点とし、道路元標もここに立てられた。

福井鉄道

## 北国街道は福井入りの主要道路

時は幕末。開国が攘夷か、天下の情勢が風雲急を告げる中、多くの志士が北国街道を京へ、あるいは京から奔走していました。坂本龍馬もその一人で、来福は文久3年(1863)、慶応3年(1867)頃、4・5回と言われています。福井城下へは、木田の辻から足羽山に沿って九十九橋を渡りました。北国街道は幕末の志士が歩いた道。道沿いには当時から続く店も数多く残り、龍馬も見たであろう景色をたどります。

5 左内公園

橋本左内(1834~1859)の墓と銅像

4 虫餅金餅店

江戸時代創業。あべ川が美味

足羽山

3 毛谷黒龍神社

北国街道沿いの城下南のまじり碑

長慶寺

秀吉時代の越前の領主、土堀秀政の菩提寺。立派な山門は明治時代に入ってから。

木田の辻

2 専照寺

浄土真宗三門徒派の本山(通称:中野本山)。通りから少し奥の山門を入ると大きな御影堂に圧迫される。建てられたのは江戸時代後期

1 世直神社

鈴木主税(1814~56)の仁政を慕った木田の町人が主税生前に創り上げた神社

木田荒町の一里塚跡

街道の道標で1里(約4km)毎にあり、目印に樓が建てられていた

赤十字前

